

某書状(戸田采女正様御忌中のため大手御門当番仰付けられにつき) →真田伊豆守江 下部破損	(天保8年) 3月朔日	横切紙・1通	こ142-2
国右衛門他五名願書[御尋二付乍恐以書付御内々奉申上候](永苗字・羽織袴等御免につき) 大岡宮原組願人頭立国右衛門他・名主窪田桑七・組頭常右衛門他2名→御勘定所御元下様御役所	慶応3年7月	豎美・1冊	こ143
運船世話方宮下肥前請書[覚](川合村船頭城用才薪運送の賃米受取につき) 運船世話方宮下肥前→才薪方御役所	慶応3年4月3日	豎紙・1通	こ380
(南御門番交代書類一括)		2点	こ70
御徒目付用状(南御門番御徒士交代の件申渡されにつき) 御徒目付→	7月	小切紙・1通	こ70-1
御徒士頭用状(南御門前番所交代につき) 御徒士頭→		小切紙・1通	こ70-2
御徒士頭用状(南御門前番所道具の件申渡につき) 御徒士頭→		横切継紙・1通	こ71
三人用状[覚](御用筋届書・書状等届けに付) 三人→御五人様 包紙に「河原敬之進」とあり	(文久4年) 2月6日	横切継紙・1通	こ73
権之進他三名申上書(高橋牧右衛門役夫調役任命につき) 権之進・荘蔵・左源太→源次兵衛様 虫損、朱書訂正あり	9月24日	切継紙・1通	こ90
(左源太検見御用・酒造停止関係一括)		15点	こ119
(左源太検見御用関係綴)		綴・14点	こ119-1
左源太用状(別紙内の職方手附の件承知につき) 左源太→荘蔵様	閏8月19日	小切紙・1通	こ119-1-1
某用状(畑作の件格別につき)		小切紙・1通	こ119-1-2
左源太用状(別紙内の職方手附の件承知につき) 左源太→荘蔵様	閏8月21日	小切紙・1通	こ119-1-3
左源太用状(窮民救いにつき) 左源太→源次兵衛様・荘蔵様・権之進様	閏8月21日	横切継紙・1通	こ119-1-4
左源太用状(検見御用の件宿泊につき) 左源太→源次兵衛様・荘蔵様・権之進様	閏8月19日	横切継紙・1通	こ119-1-5
左源太用状(一条の件熟覧につき) 左源太→御三人様	閏8月19日	横切継紙・1通	こ119-1-6
左源太用状(笹平村泊りの件書状届け下さりにつき) 左源太→源次兵衛様・荘蔵様・権之進様	閏8月24日	横切継紙・1通	こ119-1-7
左源太用状(内々一条の件口外いたし兼ねにつき) 左源太→荘蔵様	閏8月23日	小切紙・1通	こ119-1-8
左源太用状(窮民御救いにつき) 左源太→源次兵衛様・荘蔵様・権之進様	閏8月24日	横切継紙・1通	こ119-1-9
左源太用状(諸向調べの件心痛につき) 左源太→御三人様	正月15日	横切継紙・1通	こ119-1-10
左源太用状(岡野氏へ願いにつき) 左源太→御三人様	正月20日	小切紙・1通	こ119-1-11
左源太用状(検見御用の件状況報告につき) 左源太→源次兵衛様・荘蔵様・権之進様	閏8月23日	横切継紙・1通	こ119-1-12
某用状(内々申上げ相談につき)	正月16日	横切継紙・1通	こ119-1-13

藩政／家中／御用／扶持／屋敷・地所／勘定

某用状(献上金等取調べにつき)	正月15日	横切継紙・1通	こ119-1-14
竹内六郎兵衛申上書[御差出申上](酒造停止の件新米作込みにつき) 竹内六郎兵衛→-	9月2日	横切継紙・1通	こ119-2

扶持

某用状(佐野佐兵衛勝手向難混のため2人扶持申渡しにつき)		横切継紙・1通	こ305
伊藤源太郎請取状[覚](3人扶持玄米代金受取につき) 伊藤源太郎→水野清右衛門	元治元年12月27日	縦紙・1通	こ307

屋敷・地所

(屋敷揚地下付取計関係綴)		綴・6点	こ267
水道役用状(揚地130坪下賜につき) 水道役→- 裏打ち		横切継紙・1通	こ267-1
水道役用状(石倉嘉太夫へ小松家苗跡200坪他下賜につき) 水道役→- 端裏書「水道役」		横切継紙・1通	こ267-2
水道役用状(橋詰藤五郎屋敷地下賜につき) 水道役→橋詰藤五郎		横切紙・1通	こ267-3
水道役用状(北村与右衛門方八三郎へ相続等の旨につき) 水道役→- 端裏書あり		横切紙・1通	こ267-4
水道役用状(北野左金太屋敷換芳兵衛屋敷地90坪屋敷と替地につき) 水道役→芳兵衛		横切継紙・1通	こ267-5
水道役用状(出浦惣右衛門他屋敷地上納・拝借用状(出浦惣右衛門屋敷地南の方60坪上納他につき) 水道役→出浦惣右衛門・佐川又左衛門・中嶋渡郎他2名		横切継紙・1通	こ267-6

勘定

某願書(借入金返済2分金で上納につき) 前欠		横切継紙・1通	こ282
(金札御下ヶ正金関係綴)		綴・4点	こ418
辰男他一名用状(金札御下ヶ正金上納の内悪金送返などにつき) 辰男・斧平→市治様・清右衛門様 端裏書あり	11月15日	横切継紙・1通	こ418-1
辰男他一名用状(酒井様当方発途の件入料高などにつき) 辰男・斧平→市治様・清右衛門様 端裏書あり	11月7日	横切継紙・1通	こ418-2
善四郎用状(金子不足の件別紙の通り取調べ差上げにつき) 善四郎→市治様・清右衛門様	11月16日	横切継紙・1通	こ418-3

某用状[覚](御拝借金4万両、内2万3千両大谷幸蔵へ御貸下など内訳書上)		横切継紙・1通	2418-4
--------------------------------------	--	---------	--------

吟味

(石川新八申上書)		3点	2414
(封紙)[公儀御役人様御手附之名偽立之衛歩行者御仕置何程位之もの二御座候哉西田倉治郎様江致御問合御附札相濟候書面老通)	文化2年5月29日	封紙・1通	2414-1
(封紙)[真田伊豆守家来石川新八]		封紙・1通	2414-2
石川新八申上書(公儀役人と偽在口歩行者の件召捕牢舎申付につき) 真田伊豆守家来石川新八→ 下札つき	(文化2年)5月	横切紙・1通	2414-3
(真田図書宅盗賊一件関係一括 文政6年)		3点	248
石川新八用状(真田図書留守宅に忍入盗賊の衣類の件始末につき) 石川新八→ 封紙あり	文政6年4月7日	縦紙・1通	248-1
(封筒)[筒井伊賀守様二而御渡之御書替書]	文政6年4月7日	封筒・1通	248-2
(封筒)[筒井伊賀守様二而御渡之御書替書]	文政6年4月7日	封筒・1通	248-3
鈴木源兵衛申上書(真田家来北沢貫三郎宅盗難品につき) 真田豊後守家来鈴木源兵衛→ 封紙あり	(享和2年)8月3日	横切継紙・1通	249
某申付書(半田長兵衛押込につき) → 半田長兵衛 虫損	4月29日	横切継紙・1通	287
(御咎取調綴 慶応2年~4年)		綴・6点	289
御咎人名書上帳[十月調](北島要三他)		横長半・1冊	289-1
御咎人名書上帳[十二月調](高橋繁三郎他)		横長半・1冊	289-2
御咎人名書上帳[三月調](前月の通り)		折紙・1通	289-3
御咎人名書上帳[四月調](高橋繁三郎他)		横長半・1冊	289-4
御咎人名書上帳[五月調](前月の通り)		折紙・1通	289-5
御咎人名書上帳[七月調](高橋繁三郎他)		横長半・1冊	289-6
(中ノ水ノ手御門御番人沙汰関係一括 明治4年)		2点	288
宮尾新重願書[以書付御総り奉申上候](奉公人新吉沙汰につき) 中ノ水ノ手御門新五番組宮尾新重→監察方御役所 封紙つき	明治4年5月8日	縦紙・1通	288-1
柳沢鉄之助願書[以書付御総り奉申上候](伝次郎沙汰につき) 中ノ水ノ手御門御番人町田清太郎組柳沢鉄之助→監察方御役所 封紙つき	辛未(明治4年)5月8日	縦継紙・1通	288-2

災害

(仕立師脇田八之丞長屋御屋鋪類焼関係一括 天明3年～文化6年)		7点	こ123
(包紙) [御仕立師脇田八之丞長屋御屋鋪隣御同心鈴木甚右衛門屋鋪之内囲出有之同人より八之丞江懸合候節内濟双方立合見分之上相極候絵図并証文入置]	文化6年正月25日	包紙・1通	こ123-1
(包紙) [御仕立師脇田八之丞長屋御屋鋪隣御同心鈴木甚右衛門屋鋪之内囲出有之同人より八之丞江懸合候節内濟双方立合見分之上相極候絵図并証文入置] 包紙あり	天明3年4月5日	包紙・1通	こ123-2
(欠番)			こ123-3
鈴木甚右衛門用状[覚](地坪の件類焼の際の境界につき) 鈴木甚右衛門→脇田八之丞殿	天明3年3月	豎紙・1通	こ123-4
鈴木甚右衛門用状[覚](地坪の件類焼の際の境界につき写)	天明3年3月	横切紙・1通	こ123-5
絵図(屋敷境杭木打絵図)	天明3年4月5日	鋪・1点	こ123-6
(包紙) [御仕立師脇田八之丞長屋御屋敷隣御同心鈴木甚右衛門屋敷之内囲出有之同人より八之丞江掛合候節内濟双方立合見分之上相極候絵図面封物老通小山田主膳殿御渡図二付封置]	天明3年4月5日	包紙・1通	こ123-7

普請

(谷町道造り関係一括 文化6年)		4点	こ205
麻布谷町与右衛門他二名覚書[覚](谷町道造り出銀高につき) 麻布谷町家持与右衛門・善吉・名主太左衛門→真田弾正忠様御役人中様 封紙あり	文化6年2月	豎紙・1通	こ205-1
岡田半右衛門申上書(谷町道造り一件回状拝見につき) 岡田半右衛門→石川新八様・鈴木兵衛様・浅田善左衛門様 封紙あり	2月27日	横切紙・1通	こ205-2
高木右仲用状(谷町道造りの件委細相談につき) 松平備前守内高木右仲→ 封紙あり	2月27日	横切紙・1通	こ205-3
岡田半右衛門用状(谷町道造りの件仕様帳絵図拝見につき) 相馬因幡守内岡田半右衛門→ 封紙あり	2月27日	横切紙・1通	こ205-4
(蔵屋敷門続長屋1棟建替関係綴 嘉永4年)		綴・9点	こ340
(包紙) [工数御請負一札]		包紙・1通	こ340-1
御安口大工勇治請書[御請負一札之事](御蔵屋敷門続長屋1棟手間賃3両余で請負につき) 御安口大工勇作→御勘定所御金掛御役所	嘉永4年6月	豎紙・1通	こ340-2
恩田頼母回答状(伺いの旨承知につき) 恩田頼母→竹村金吾殿	(嘉永4年)5月28日	小切紙・1通	こ340-3

御金掛伺書(端裏書)[役夫調改御役所等御建替之儀同](役所建替普請の件入札別帳の通りにつき) 御金掛→	(嘉永4年)5月20日	横切紙・1通	こ340-4
某用状(修復木材材料状量等書付につき)	(嘉永4年)3月4日	小切紙・1通	こ340-5
御収納賄方伺書[御蔵御門統御役所御普請之義同](御門修復の大工請負の事につき) 御収納賄方→	(嘉永4年)5月	横切紙・1通	こ340-6
御収納賄方用状[御蔵御門統御役所御普請之義同](御門修復の大工請負の事につき) 御収納賄方→ 下札あり	(嘉永4年)5月	横切紙・1通	こ340-7
某用状(修復材木丈量書付)	(嘉永4年)	横折紙・1通	こ340-8
某見取図(御蔵屋敷門統長屋見取図)		縦紙・1通	こ340-9

交通

(引船運送関係一括 文化13年)		2点	こ421
真田弾正大弼家来鈴木弥左衛門伺書(包紙上書)[文化十三年五月廿七日濟御領分川々引船運送之儀付柳生主膳正様江被差出候御伺書御附札相濟候段鈴木弥左衛門申聞](松代近辺川々引船他領入会の場所運送につき) 真田弾正大弼家来鈴木弥左衛門→ 封紙2枚あり、下ヶ札あり	(文化13年)4月	横切紙・1通	こ421-1
御名伺書写(包紙上書)[文化十四丑年九月十九日御領分近辺川々引船口口入会之場所運送御附札濟御伺書写](引船運送の件福島村まで運送につき) 御名→ 封紙あり、付札あり、下部破損	6月晦日	横切紙・1通	こ421-2
(包紙)[佐州御金荷先触写矢代宿問屋差出并善光寺二而昼賄献立後町村より差出候書面]こ394、こ395の包紙	文政4年6月25日	包紙・1通	こ393
善光寺町御本陣藤井平五郎用状[佐州御金幸御領役人様御休二付御昼賄立](御茶菓子・饅頭など書上) 善光寺町御本陣藤井平五郎→	已6月21日	縦紙・1通	こ394
矢代宿問屋源左衛門申上書写[御先触之写](佐渡よりの金銀荷輸送につき) 矢代宿問屋源左衛門→御郡御奉行所 包紙あり、虫損甚し	文政4年6月19日	横切継紙・1通	こ395
真田伊豆守家来座間百人申上書(石川主水正様に中馬の件内々御問合につき) 真田伊豆守家来座間百人→ 包紙2紙あり	文政6年10月26日	横切継紙・1通	こ467
[越州新井宿より信州松代迄宿々駄賃帳] 真田信濃守内八田嘉吉→	慶応4年閏4月	横長半・1冊	こ107
(竹内金左衛門上京諸入用勘定関係綴 明治2年)		綴・9点	こ386
賃銭掛御座組新平勘定書(竹内金左衛門殿東京へ中早追御用帰りの節の諸入用明細につき) 賃銭掛御座組新平→池田富之進殿・堤常之丞殿・長谷川直太郎殿他4名 奥書あり	明治2年7月	縦継紙・1通	こ386-1
板橋宿深野屋六左衛門金銭受取書[覚](人足5人金3分3朱ト銭500文につき) 板橋宿深野屋六左衛門→上	已(明治2年)6月	小切紙・1通	こ386-2
[信州松代より武州板橋宿迄宿々賃銭帳](6月8日	已(明治2年)7月	横長半・1冊	こ386-3

～11日) 松代竹内金左衛門内酒井新平→-			
[夜増賃錢御勘定帳] (6月8日～11日) 新平→-	明治2年6月	横長半・1冊	こ386-4
[出東京道中人足酒代御勘定帳] 新平→-	巳(明治2年)6月	横長半・1冊	こ386-5
[松代より東京迄道中御賄代御勘定帳] (6月9日～11日) 御座組新平→-	巳(明治2年)7月	横長半・1冊	こ386-6
[武州板橋宿より信州松代迄宿々駄賃帳] 竹内金左衛門内酒井新平→-	明治2年7月	横長半・1冊	こ386-7
[早追道中人足酒代御勘定帳] 御座組新平→	巳(明治2年)7月	横長半・1冊	こ386-8
[道中御賄代御勘定帳] (6月25日～28日) 御座組新平→	巳(明治2年)7月	横長半・1冊	こ386-9
(宿々駄賃帳・往還休泊遣払帳綴 明治元年)		綴・9点	こ391
[信州從松代同岩村田迄宿々駄賃帳] (11月20日～22日) 草間一路家来→-	明治元年11月	横長半・1冊	こ391-1
[從松代岩村田迄宿々駄賃帳] (11月12日・13日) 松代渡辺左太郎家来→-	明治元年11月12日	横長半・1冊	こ391-2
[從信州松代同州岩村田迄往返宿々駄賃帳] (11月12日～16日) 松代草間一路家来→-	明治元年11月12日	横長半・1冊	こ391-3
[從松代岩村田迄往返休泊遣払帳]	明治元年11月	横長半・1冊	こ391-4
[從松代岩村田往返休泊遣払帳]	明治元年11月	横長半・1冊	こ391-5
[從松代飯嶋宿迄休泊御入料帳] 郡分附齊藤孝作→-	明治元年12月	横長半・1冊	こ391-6
[從松代飯嶋宿松代迄宿々駄賃帳] (12月2日～4日) 草間一路家来→-	明治元年12月2日	横長半・1冊	こ391-7
問屋役人受取書(先触人足3人代金466文につき) 問屋役人→-	辰(明治元年)12月朔日	小切紙(8・9仮綴)・1通	こ391-8
[從信州松代同伊奈県迄宿々駄賃帳] (11月29日～12月朔日) 草間一路家来→-	明治元年11月29日	横長半(8・9仮綴)・1冊	こ391-9
(駄賃、休泊料受取書綴 明治元年) こ391と旧封筒では一括		綴・34点	こ392
某受取書[覚] (品代金2分2朱ト100文につき) →上	11月14日	小切紙・1通	こ392-1
小諸横町蘆屋初五郎金錢受取書[覚] (品代金2分3朱につき) 小諸横町蘆屋初五郎→上 下ヶ札あり	11月14日	小切紙・1通	こ392-2
田中宿田中屋大蔵受取書[覚] (1人様代金2朱ト300文につき) 田中宿田中屋大蔵→上	11月12日	小切紙・1通	こ392-3
問屋金錢受取書[覚] (麻績より人足1人代金617文につき) 問屋より→-	12月4日	小切紙・1通	こ392-4
問屋役人請取書[覚] (先触人足1人分代金413文につき) 問屋役人→-	12月3日	小切紙・1通	こ392-5
宮木宿問屋役人金錢受取書[覚] (人足3人代金1貫239文につき) 宮木宿問屋役人→-	12月3日	小切紙・1通	こ392-6
問屋役人受取書[覚] (人足1人代金414文につき) 問屋役人→-	12月3日	小切紙・1通	こ392-7
北殿宿問屋役人金錢受取書[覚] (人足1人代金184文につき) 北殿宿問屋役人→-	12月3日	小切紙・1通	こ392-8

刈谷原宿御本陣中澤与次右衛門金銭請取書[覚](御上下6人様代銀60匁につき) 刈谷原宿御本陣中澤与次右衛門→上	辰(明治元年) 12月4日	小切紙・1通	こ392-9
扇屋沖三郎金銭受取書[覚](品代金1分1朱につき) 扇屋沖三郎→上様	12月朔日	小切紙・1通	こ392-10
扇屋沖三郎金銭受取書[覚](品代金1分1朱につき) 扇屋沖三郎→上様	12月2日	小切紙・1通	こ392-11
飯嶋榎屋金銭請取書[覚](御宿料など代金90匁につき) 飯嶋榎屋→上	12月2日	小切紙・1通	こ392-12
塩尻宿海老屋吉左衛門金銭受取書[覚](御上下6人様弁当代金1分2朱につき) 塩尻宿海老屋吉左衛門→上	12月3日	小切紙・1通	こ392-13
青柳宿御本陣青柳八郎右衛門金銭請取書[覚](6人様代金1分2朱につき) 青柳宿御本陣青柳八郎右衛門→上	11月29日	小切紙・1通	こ392-14
伊奈部宿御宿脇御本陣常盤屋金銭請取書[覚](御上下6人様御泊り代金1分につき) 伊奈部宿御宿脇御本陣常盤屋源〔虫損〕→上 下部虫損	12月2日	小切紙・1通	こ392-15
宮木宿甲屋三左衛門金銭受取書[覚](御上下6人様屋食料3貫文につき) 宮木宿甲屋三左衛門→上	11月晦日	小切紙・1通	こ392-16
松本宿御宇宿榎屋伊右衛門金銭受取書[覚](御上下6人様宿料50匁につき) 松本宿御宇宿榎屋伊右衛門→上	11月20日	小切紙・1通	こ392-17
山崎登治郎金銭受取書[覚](人足4人代金2貫406文につき) 山崎登治郎→齊藤幸作殿	辰(明治元年) 11月20日	小切紙・1通	こ392-18
小諸町御本陣代巴兵左衛門金銭受取書[覚](御上下11人様代金2両1朱につき) 小諸町御本陣代巴兵左衛門→上	辰(明治元年) 11月22日	小切紙・1通	こ392-19
上田米屋万右衛門金銭請取書[覚](御上下11人様昼賄代金2分3朱につき) 上田米屋万右衛門→松代様上	辰(明治元年) 11月20日	小切紙・1通	こ392-20
上田御定宿米屋万右衛門金銭請取書[覚](御茶代金100疋につき) 上田御定宿米屋万右衛門→松代様上	辰(明治元年) 11月20日	小切紙・1通	こ392-21
小諸町御本陣代巴兵左衛門金銭受取書[覚](御上下11人様金2両1朱につき) 小諸町御本陣代巴兵左衛門→上	辰(明治元年) 11月20日	小切紙・1通	こ392-22
岩村田宿年寄佐忠次金銭受取書[覚](御上下11人様代金33匁につき) 岩村田宿年寄佐忠次→松代様	辰(明治元年)11月 21日	小切紙・1通	こ392-23
好家屋七左衛門金銭受取書[覚](御8人様御夜飯料金1分2朱につき) 好家屋七左衛門→上	11月22日	小切紙・1通	こ392-24
岩村田宿好家屋七左衛門金銭受取書[覚](旅籠御屋料金2両2分1朱500文につき) 岩村田宿好家屋七左衛門→上	11月22日	小切紙・1通	こ392-25
繁之介金銭受取書[覚](人足2人代金1貫372文につき) 繁之介→上	11月20日	竪紙・1通	こ392-26
郡方附斎藤孝作金銭受取書[覚](休泊賃銭勘定につき) 郡方附斎藤孝作→	明治元年12月	竪継紙・1通	こ392-27
上田町寿勝右衛門金銭請取書[覚](御賄料など金1両2分につき) 上田町寿勝右衛門→御上様	辰(明治元年) 9月23日	竪紙・1通	こ392-28
郡方附斎藤孝作金銭受取書[覚](休泊料勘定につき) 郡方附斎藤孝作→	明治元年12月	竪紙・1通	こ392-29

藩政/家中/交通

小諸町御宿衆屋重右衛門金銭受取書[覚](御茶代金2両2分につき) 小諸町御宿衆屋重右衛門→-	辰(明治元年)2月20日	豎紙・1通	こ392-30
小諸町御定宿衆屋重右衛門受取書[覚](御上下7人様金1分3朱につき) 小諸町御定宿衆屋重右衛門→上	11月13日	豎紙・1通	こ392-31
御宿渡辺武左衛門金銭請取書[覚](代金9貫300文につき) 御宿渡辺武左衛門→上	11月16日	豎紙・1通	こ392-32
小諸町脇御本陣衆や重右衛門金銭受取書[覚](代金7両2分2朱につき) 小諸町脇御本陣衆や重右衛門→松本様両旦那様御役人中様	辰(明治元年)11月15日	豎継紙・1通	こ392-33
御宿問屋清兵衛金銭請取書[覚](御上下6人様御泊り代金3分につき) 御宿問屋清兵衛→上様	11月30日	豎紙・1通	こ392-34
(御固場所通行関係一括)		3点	こ426
(包紙) 上田喜多嶋市之丞→松代御城下関門御詰御役人中様	閏4月13日	包紙・1通	こ426-1
喜多嶋市之丞通達状(御固場所通行の件通下されにつき) 喜多嶋市之丞→松代御城下関門御詰御役人中様		横切継紙・1通	こ426-2
(焼印鑑札図)		小切紙・1通	こ426-3
(駅通会議所取立関係一括)		2点	こ435
弥右衛門用状(端裏書)[回状 駅通会議所取立之事] 弥右衛門→一路様・為之進様	8月25日	横切継紙・1通	こ435-1
倉田三之丞申上書(端裏書)[駅通会議所取建方之儀二付申上](駅通会議所新規建て替えにつき) 倉田三之丞→- 下ヶ札あり	8月	横切継紙・1通	こ435-2
菊池庄三郎他一名用状(合印建札付たばこ荷物の継送差支なき様差図につき) 菊池庄三郎・田口幸助→原半兵衛様・三沢方右衛門様	7月3日	横切継紙・1通	こ454
宮下伝蔵他一名用状(端裏書)[御郡奉行より御手代江遣候返事案詞](合印建札付荷物立札共に指し留めにつき) 宮下伝蔵・湯本十学→田口幸助様・菊池庄三郎様 端裏書あり	7月4日	横切継紙・1通	こ455
(鹿野外守甲府還返宿々人足賃銭賄代品々小払勘定書等綴 明治元年~同2年)		綴・8点	こ456
下目付塚田元之助用状(鹿野外守殿甲府より松代迄還返宿々人足賃銭賄代品々小払勘定書付) 下目付塚田元之助→御目付方御役所 奥書あり	明治2年8月	豎継紙・1通	こ456-1
甲府大田屋重右衛門受取書[覚](駕籠損料金2朱200文につき) 甲府大田屋重右衛門→上	12月19日	横切紙・1通	こ456-2
高嶋美濃屋佐兵衛受取書[覚](琉球表1枚代金2朱につき) 高嶋美濃屋佐兵衛→上	12月20日	横切継紙・1通	こ456-3
下目付塚田元之助用状(上下2人御賄代払い辻書付) 下目付塚田元之助→-	巳(明治2年)6月	横切継紙・1通	こ456-4
[宿々人足江酒代被下帳] 塚田元之助→-	巳(明治2年)6月	横半帳・1冊	こ456-5
[宿々人足江酒代被下帳] 下目付塚田元之助→-	巳(明治2年)6月	横半帳・1冊	こ456-6
[従甲府信州松代迄宿々駄賃帳] 松代鹿野外守内塚田元之助→-	明治元年11月20日	横長半・1冊	こ456-7
[従信州松代甲州韭崎迄宿々駄賃帳] 松代塚田元之助→-	明治元年12月	横長半・1冊	こ456-8

郡方附齊藤孝作受取書[覚](伊那県御用につき草間一路様他出張人馬賃銭・休泊料につき) 郡方附齊藤孝作→裏打ち	明治元年12月	豎継紙・1通	乙462
(京都往復人足賃銭他勘定書綴 明治元年)		綴・23点	乙463
田嶋惣之丞組直治郎他一名用状(京都表へ早追御用相勤道中宿々人足賃銭ほか明細勘定書付) 田嶋惣之丞組直治郎・御飛脚才領組富作→御割番所 奥書あり、裏打ち	明治元年11月	豎継紙・1通	乙463-1
[従[]松代早追駄賃帳] 荒川富作・池田直次郎→裏打ち		横長半・1冊	乙463-2
[早追人足酒代御勘定帳] 御飛脚才領組富作・田嶋惣之丞組直次郎→裏打ち	辰(明治元年)10月	横長半・1冊	乙463-3
[早追道中蠟燭代御勘定帳] 御飛脚才領組富作・田嶋惣之丞組直次郎→裏打ち	辰(明治元年)10月	横長半・1冊	乙463-4
[早追道中仕切御賄代御勘定帳] 御飛脚才領組富作・田嶋惣之丞組直次郎→裏打ち	辰(明治元年)10月	横長半・1冊	乙463-5
田嶋惣之丞組直次郎用状(帰りの節仕切御賄代金勘定書付) 田嶋惣之丞組直次郎→裏打ち	辰(明治元年)11月	豎切紙・1通	乙463-6
大津宿丸屋金兵衛金銭受取書[覚](御1人様御泊り代金1貫948文につき) 大津宿丸屋金兵衛→上 裏打ち	10月19日	豎切紙・1通	乙463-7
口山宿加賀屋惣吉金銭受取書[覚](御1人前昼弁当代700文につき) 口山宿加賀屋惣吉→上 裏打ち	10月20日	小切紙・1通	乙463-8
愛知川宿武蔵屋金作金銭受取書[覚](御1人様御泊り代金1貫900文につき) 愛知川宿武蔵屋金作→上 裏打ち	10月20日	小切紙・1通	乙463-9
関ヶ原宿林屋専吉受取書[覚](御1人前弁当代664文につき) 関ヶ原宿林屋専吉→上 裏打ち	10月21日	小切紙・1通	乙463-10
加納宿河崎屋善右衛門金銭請取書[覚](御1人様泊り代金1貫900文につき) 加納宿河崎屋善右衛門→上 裏打ち	10月21日	小切紙・1通	乙463-11
太田宿備前屋庄介金銭受取書[覚](御1人昼弁当代672文につき) 太田宿備前屋庄介→上 裏打ち	10月22日	小切紙・1通	乙463-12
細久手宿酒井吉右衛門受取書[覚](御1人御泊り1貫800文につき) 細久手宿酒井吉右衛門→上 裏打ち	10月22日	小切紙・1通	乙463-13
大井宿庄内屋五郎左衛門金銭請取書[覚](御1人御弁当代732文につき) 大井宿庄内屋五郎左衛門→上 裏打ち	10月23日	小切紙・1通	乙463-14
落谷宿浜屋武七金銭受取書[覚](御1人御泊り代口貫900文につき) 落谷宿浜屋武七→上 裏打ち	10月23日	小切紙・1通	乙463-15
三と野三河屋兵右衛門金銭請取書[覚](御1人前弁当代688文につき) 三と野三河屋兵右衛門→上 裏打ち	10月24日	小切紙・1通	乙463-16
次原宿粕屋宇左衛門金銭受取書[覚](御1人様御泊り代老1貫872文につき) 次原宿粕屋宇左衛門→上 裏打ち	10月24日	小切紙・1通	乙463-17
福嶋宿田中屋半兵衛金銭受取書[覚](御1人様御弁当代672文につき) 福嶋宿田中屋半兵衛→上 裏打ち	10月25日	小切紙・1通	乙463-18
宮腰宿村上弥惣右衛門金銭受取書[覚](御1人様御泊り代1貫700文につき) 宮腰宿村上弥惣右衛門→上	10月25日	小切紙・1通	乙463-19

裏打ち			
奈良井宿中野屋新吉金銭受取書[覚](御1人様御弁当代732文につき) 奈良井宿中野屋新吉→上 裏打ち	10月26日	小切紙・1通	こ463-20
村井宿上村井忠兵衛金銭請取書[覚](御1人前御泊代1貫900文につき) 村井宿上村井忠兵衛→上 裏打ち	10月26日	小切紙・1通	こ463-21
青柳宿問屋金銭受取書[覚](御1人前昼弁当代700文につき) 青柳宿問屋→上 裏打ち	10月27日	小切紙・1通	こ463-22
[従京都表信州松代迄旅籠并昼弁当料共払覚帳] 荒川富作→ 裏打ち	辰11月朔日	横長半・1冊	こ463-23
松本錢幣局出役人請取書(人足賃銭先方にて請取につき) 松本錢幣局出役人→松代藩倉田三之丞様 包紙あり	9月17日	横切紙・1通	こ464
某用状[覚](仁礼村他2ヶ村駄賃書付)		横切紙・1通	こ465
(駅通会議関係書類綴)		綴・7点	こ466
野中直之助他一名伺書(端裏書)[於矢代宿駅通会議御中借之儀付伺](飯料入費の外会議所品々御入料の分請け取り申したくにつき) 野中直之助・坂本寛介→ 端裏書あり	閏10月22日	横切継紙・1通	こ466-1
北島元之助他一名伺書(端裏書)[於矢代宿駅通会議請取物之儀伺](小盤紙2束ほか請け取り申したきにつき) 北島元之助・坂本寛介→ 端裏書あり	閏10月	横切継紙・1通	こ466-2
某用状(会議所取次御足軽2人・給仕の者3人ほか書付)		横切継紙・1通	こ466-3
野中他一名伺書下書(端裏書)[拝借人之義二付伺](矢代宿駅通会議出張、拝借人成し下されたきにつき) 野中・坂本→ 端裏書あり	閏10月22日	横切紙・1通	こ466-4
野中他一名伺書下書(端裏書)[駅通集會出張之口候御口借之義二付伺](駅通集會諸入用などにつき) 野中・坂本→ 虫損、端裏書あり	11月21日	横切継紙・1通	こ466-5
野中他一名申上書下書(端裏書)[藩々江錢幣引換之延方之義二付申上](駅通会議の件錢幣引き換えにつき) 野中・坂本→ 虫損、端裏書あり	11月4日	横切継紙・1通	こ466-6
野中直之助他一名伺書下書(端裏書)[會議二而藩々江菓子被下等之義二付伺](知事よりの件如何成し下されにつき) 野中直之助・坂本寛介→ 端裏書あり	閏10月22日	横切継紙・1通	こ466-7
(新御殿長局引方・洋学校修繕のため南大路往来留関係書類綴)		綴・5点	こ475
営膳司伺書(端裏書)[南大路往来留之義伺](新御殿長局引出のため南大路往来留につき) 営膳司→ 端裏書「二月三日」	2月	小切紙・1通	こ475-1
監察申上書(端裏書)[南大路往来留之義御尋申上](南大路往来留のため学校の方通行につき) 監察→	2月	横切継紙・1通	こ475-2
学監申上書(端裏書)[南王路往来留中学校の方通行之義御尋二付申上](洋学校修繕の件余儀なくいたしにつき) 学監→	2月	横切継紙・1通	こ475-3
少参事回答書(南王路往来留中学校の方通行の件監察・学監尋ねにつき) 少参事→	2月4日	横切継紙・1通	こ475-4
某用状(南王路往来留中通行の仕方につき郡政・市政・副主意心得につき)		横切紙・1通	こ475-5

その他

宮沢善治他一名用状(当座添荷試につき) 宮本慎助・宮沢善治→津の国や炭屋友七様人々御中 裏打ち	閏7月21日	切紙・1通	こ82
某申上書(定番名代勝大夫不届の件赦免につき) →水道役中	閏7月26日	切継紙・1通	こ95
中俣左吉受取書[覚](脇差につき) 中俣左吉→三井源吉ほか8名 裏書き・端裏書あり	文政11年12月	豎紙・1通	こ212
[覚](源四郎木綿わた入等品預りにつき) 小野→おきくとの	10月23日	横折紙・1通	こ236
御郡方何書(端裏書)[住居障御手元何](大風雨のため住居障りの件借用願いにつき) 御郡方→付札あり「可為何之通候」	7月	小切紙・1通	こ259
某用状[郡方申立](割番申立他につき) 朱書あり		横長半・1冊	こ294
某用状(博奔他罪人書上につき 2月13日7ツ過より) →		横切紙・1通	こ295
(上川伝一郎用状)		2点	こ296
(封筒) こ296-2の封筒		封筒・1通	こ296-1
上川伝一郎用状(混雑の様子等道中他の見聞報告につき) 上川伝一郎(花押)→波嶋村外千曲川・犀川通御村々御役人衆中	3月21日	横切継紙・1通	こ296-2
宮内用状(別冊武功記事は原本にて其表に秘蔵につき) 宮内→御三所様 端裏書あり	11月20日	横切紙・1通	こ472
三人用状(真田村長谷寺相願候額の写御廻しにつき) 三人→御三所様 端裏書、虫損あり	11月20日	横切紙・1通	こ473
某申上書[入記](書物類、紙封、書状送達につき) こ472~4旧封筒一括、一部破損	11月20日	横切継紙・1通 別紙共	こ474

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

寺社方

訴訟・争論

(真勝寺訴状 文政11年)		2点	こ332
真勝寺訴状〔以書付御訴訟申上候〕(東寺尾村出火の節6ヶ村罷越さるにつき赦免願) 真勝寺→郡奉行所	文政11年6年	縦継紙・1通	こ332-1
(包紙)〔覚〕 真勝寺		包紙・1通	こ332-2

町方

人別

(屋根や名字関係綴 延享3年)		綴・5点	こ99
(封筒)〔屋根や名字のこと〕 喜右衛門→	延享3年5月	封筒・1通	こ99-1
金井渡大夫用状〔口上〕(名字名乗り願いの件申聞きにつき) 金井渡大夫→ 封筒あり	(延享3年)5月	横切継紙・1通	こ99-2
某用状(屋柵や喜右衛門名字願いの件相違なきにつき)	(延享3年)	横切継紙・1通	こ99-3
白井平左衛門用状(屋ねやの件木工聞き及びにつき) 白井平左衛門→金井渡大夫様・河野弥一兵衛様・山寺荘左衛門様	(延享3年)	横切継紙・1通	こ99-4
白井平左衛門用状(名字名乗りの件仰付られにつき) 平左衛門→渡大夫様	(延享3年)	小切紙・1通	こ99-5
某用状(伊勢町相沢貞蔵奇特のため永苗字御免につき) →伊勢町相沢貞蔵	(天保7年)12月28日	小切紙・1通	こ158
松野茂一郎他一名用状(松代城下町初右衛門妹の宿飯売奉公の件問合わせにつき) 水野良平・松野茂一郎→草間一路様・前嶋友之進様	12月18日	横切継紙・1通	こ168
某申上書(町方之者3代相統二而袴御差免口上につき) 破損	12月10日	横切紙・1通	こ228

屋敷・地所

伊勢町家守徳兵衛他一名申上書〔差上申一札之事〕(御用地之外家賃差上につき) 伊勢町御家守徳兵衛、同町証抛人甚兵衛→増田徳右衛門殿・八田長左衛門殿3名裏書あり	元禄8年3月16日	縦紙・1通	こ211
伊勢町徳兵衛家賃手形〔口上覚〕(屋賃改の件閏月除きにつき) 伊勢町御家守徳兵衛→関口忠右衛門殿・星野万五左衛門殿 奥印・奥書きあり、端裏書あり	元禄10年12月22日	縦紙・1通	こ179

吉太夫他一名用状〔指上申一札之事〕(伊勢町御死者宿の件家守仰付られ家賃差上につき) 御家守吉大夫・証拠人中町吉次郎→(町年寄) 増田徳左衛門他4名端裏書あり	元禄15年9月5日	縦紙・1通	こ180
御厩町肝煎宇右衛門申上書(御厩町拝領地間口裏行につき) 御厩町肝煎宇右衛門→御水道方御役所 前欠	寛政6年正月	縦紙・1通	こ173
下田町同心丁肝煎吉郎右衛門他一名申上書〔乍恐以口上書御訴申上候御事〕(大熊衛士同心新七居宅焼失のため方法寺参林につき) 下田町同心丁肝煎吉郎右衛門・組頭久左衛門→水道御奉行所 「焼失」の端裏書あり	寛政9年6月	縦紙・1通	こ162
下田町同心丁肝煎忠右衛門他一名申上書〔乍恐以口上書御訴申上候〕(三郎治借屋仲七焼失のため願行寺参林につき) 下田町同心丁肝煎忠右衛門・組頭忠左衛門→御水道御役所 端裏書あり	文化11年4月4日	縦紙・1通	こ163
(紙屋町団右衛門申上書)		2点	こ224
(封紙) 御郡方→	文政9年10月	封紙・1通	こ224-1
紙屋町団右衛門申上書〔乍恐以口上書御請申上候御事〕(団右衛門請の場所の件川凌土揚場にすることに故障なしにつき) 紙屋町団右衛門→御郡御奉行所	文政9年10月	縦紙・1通	こ224-2
馬場町末同心町肝煎瀧五郎他一名願書〔乍恐以書付奉申上候〕(同心屋敷譲り受けにつき) 馬場町末同心町肝煎瀧五郎・組頭藤蔵→御水道御役所 端裏書あり	文政12年7月	縦紙・1通	こ172
馬場町末同心町肝煎瀧五郎他一名申上書〔乍恐以書付御訴申上候〕(清右衛門焼失のため安養寺入寺につき) 馬場町末同心丁肝煎瀧五郎・組頭藤蔵→御水道御奉行所	天保5年9月19日	縦紙・1通	こ164
馬場町末同心町肝煎作兵衛他一名申上書〔乍恐以書付御訴申上候〕(又右衛門居家焼失にのため西念寺入寺につき) 馬場町末同心町肝煎作兵衛・組頭留之介→御水道御奉行所	天保9年正月29日	縦紙・1通	こ165
(包紙)〔八田分米山弥右衛門証文〕		包紙・1通	こ174
米山弥右衛門他一名拝借証文〔御内借御証文之事〕(西木町伝蔵抱屋敷譲り受けにつき) 御借主米山弥右衛門・御請人西木町忠右衛門→御内借御掛り御役所 端裏書あり	安政3年11月	縦紙・1通	こ175
米山弥右衛門内規書写〔御内規定之事〕(西木町家屋敷共代金の残金の件相違なきにつき) 米山弥右衛門→堀内権左衛門様	安政3年11月3日	縦紙・1通	こ176
佐藤則通金錢請取書〔覚〕(米山弥右衛門内借の件壬申分已前の分請取につき) 佐藤則通→堀内荘作殿・半田亀作殿	壬申8月2日	縦紙・1通	こ177
某用状(伊勢町米山弥右衛門内借金額につき) 端裏書あり、奥書あり		小切紙・1通	こ178

勘定

(年賦返済の金子借用証文綴 寛政6年)		綴・92点	こ254
平兵衛金子他三名拝借証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金2両1分と1匁6分1厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借主平兵衛・五人組吉左衛門・同善五郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-1
勇左衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金7両3分と7匁3分2厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借主勇左衛門・五人組善右衛門・同武兵衛他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-2
勇左衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金3両3分と4匁1分1厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借主勇左衛門・五人組善右衛門・同武兵衛他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-3
惣八他三名金子借用証文[指上申拝借証文之事](火災のため残金6両3分と2匁2分5厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借主惣八・五人組忠八・同幸十郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-4
理右衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金6両3分と9匁長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借り主理右衛門・五人組幸十郎・同忠八他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-5
宇佐美清十郎他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金42両3分と4匁5分4厘長年賦割合にて返済につき) 宇佐美清十郎・五人組栄左衛門・同太左衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-6
宇佐美清十郎金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金11両と9匁5分9厘長年賦割合にて返済につき) 御町年寄宇佐美清十郎→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-7
忠八他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金2両1分と1匁6分2厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借り主忠八・五人組幸十郎・同理右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-8
吉左衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金3両と3匁4分3厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借主吉左衛門・五人組平兵衛・同長後五郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-9
吉左衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残2両1分と1匁6分2厘長年賦割合にて返済につき、金2両1分と銀1匁6分2匁借用につき) 伊勢町御借主吉左衛門・五人組平左衛門・同善五郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-10
善五郎他三名金子借用証文[指上申拝借証文之事] (火災のため残金2両1分と1匁6分2厘長年賦割合にて返済につき) 伊勢町御借主善五郎・五人組平兵衛・同断吉左衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-11

長左衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金71匁1分長年賦割合にて返済につ き) 本町御借主長左衛門・五人組磯八・幸八他3名→ 御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-12
吉兵衛他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両3分と14匁7分1厘長年賦割合 にて返済につき) 鏡屋町御借主吉兵衛・五人組清四 郎・同断藤吉他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あ り	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-13
平治郎他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金3両2分と14匁1分1厘長年賦割合 にて返済につき) 鏡屋町御借主平治郎・五人組清四 郎・同藤吉他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-14
寅之助他五名金子借用証文[指上申拝借証文之事] (火災のため残金12匁8分8厘長年賦割合にて返済 につき) 鏡屋町御借主寅之助・五人組清四郎・同藤吉他 3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-15
民吉他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火 災のため残金1両2分と1匁1匁2厘長年賦割合にて 返済につき) 中町金右衛門母役代御借主民吉・五人組 嘉清治・勝右衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印 あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-16
民吉他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火 災のため残金4両1分と1分3厘年賦割合にて返済 につき) 中町金右衛門母役代御借主民吉・五人組嘉清 治・勝右衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-17
弥平他四名治金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1分8匁長年賦割合にて返済につ き) 中町御借主弥平治・五人組庄蔵・文蔵他2名→御勘 定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-18
幸八他四名金子借用証文[差上申御拝借証文之御事] (火災のため残金4両3分と1匁6分1厘長年賦割合 にて返済につき) 御借主中町吉右衛門後家役代幸 八・五人組安楽寺・同佐吉他2名→御勘定所拝借御懸り御 役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-19
後家代役藤右衛門他四名金子借用証文[差上申拝借 証文之事](火災のため残金5両3分と10匁2分1厘 長年賦割合にて返済につき) 中町源五郎御借主後 家・役代藤右衛門・五人組宗治郎他3名→御勘定所拝借御 懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-20
勇治郎他二名金子借用証文[指上申拝借証文之事] (火災のため残金1両1分と14匁3分9厘長年賦割合 にて返済につき) 中町新右衛門事御借主勇太郎・五人 組惣五郎・同左兵衛他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥 印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-21
庄蔵他四名金子借用証文[差上申御拝借証文之御事] (火災のため残金1両3分と4匁3分長年賦割合にて 返済につき) 中町御借主庄蔵・五人組吉左衛門・弥平 治他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-22
五右衛門他七名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金2両と6匁9分4厘長年賦割合にて 返済につき) 中町借主五右衛門・五人組善蔵・庄兵衛 他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-23
喜与他五名八金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金2両2分と1匁5分7厘長年賦割合 にて返済につき) 中町御借主喜与八・五人組重左衛 門・太三郎他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-24

藩政/町方/勘定

五兵衛他五名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金3両2分と11匁3分1厘長年賦割合にて返済につき) 中町御借主五兵衛・五人組喜代八・重左衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-25
左兵衛他三名金子借用証文[指上申拝借証文之事] (火災のため残金3両8分4厘年賦割合にて返済につき) 中町御借主幸右衛門・五人組宗治郎・与惣右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-26
幸右衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両と6匁8分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主幸右衛門・五人組宗治郎・与惣右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-27
治郎七他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両3分と6匁8分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主治郎七・五人組惣五郎・同友三郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-28
権蔵他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金1分と6匁2分9厘長年賦割合にて返済につき) 中町惣治母役代御借主権蔵・五人組安楽寺・吉右衛門後代幸八他3名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-29
弱太郎他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金2両と6分8厘長年賦割合にて返済につき) 中町御借主弱太郎・五人組喜清次・金左衛門母役代民吉他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-30
弱太郎他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両2分と1匁1分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主弱太郎・五人組喜清次・金右衛門後代民吉他3名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-31
弥惣治他四名金子借用証文[差上申御拝借証文之御事] (火災のため残金1両1分と11匁1分3厘長年賦割合にて返済につき) 中町御借主弥惣治・五人組文蔵・弥平治他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-32
弥惣治他四名金子借用証文[差上申御拝借証文之御事] (火災のため残金1分と8匁長年賦割合にて返済につき) 中町御借主弥惣治・五人組文蔵・弥平治他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-33
吉左衛門他五名金子借用証文[差上申御拝借証文之御事] (火災のため残金1分と8匁長年賦割合にて返済につき) 中町御借主吉左衛門・五人組庄蔵・弥平治・文蔵他2名→御勘定所御拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-34
喜清治他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両2分と1匁1分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主喜清治・五人組金右衛門母役代民吉・勝右衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-35
勝右衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両2分と1匁1分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主勝右衛門・五人組喜清治・金右衛門母役代民吉他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-36
九兵衛他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両2分と1匁1分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主九兵衛・五人組喜清治・金右衛門母役代民吉他3名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-37

善兵衛他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両2分と1匁1分長年賦割合にて返済につき) 中町御借主善兵衛・五人組喜清治・金右衛門母役代民吉他3名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-38
久四郎他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金2両3分と3匁長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主久四郎・五人組権九郎・清右衛門他3名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-39
伝五郎他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両1分と5匁長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主伝五郎・五人組忠右衛門・四五右衛門他1名→御勘定所御拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-40
友吉他四名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金1両と5匁5分6厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町弥平治代御借主友吉・五人組清右衛門・勘右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-41
惣右衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金3両1分と5匁長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主惣右衛門・同五人組三郎治・同断勇吉他3名→御勘定所御拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-42
四郎右衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金4両3分と9匁長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主四郎右衛門・五人組権九郎・清右衛門他2名→御勘定所御拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-43
勘右衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金1両と5匁5分6厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主勘右衛門・五人組清右衛門・弥平母役代友吉他2名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-44
長藏他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両と5匁5分6厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主長藏・五人組清右衛門・勘右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-45
清次郎他四名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金2両2分と銀14匁6厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主清次郎・五人組清右衛門・勘右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-46
新兵衛他十名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金6両2分10匁長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主新兵衛・五人組吉右衛門・伊兵衛他8名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-47
幸右衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金2分と3匁1分長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主幸右衛門・五人組重八・仁左衛門他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-48
藤八金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金1分と14匁1分30厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主藤八・五人組七郎兵衛・八衛八他1名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-49
市兵衛他三名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金6両と13匁6分3厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主市兵衛・五人組覚右衛門役代伝藏・磯治郎他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-50

藩政/町方/勘定

仙助他三名金子借用証文[差上申拝借証文御事] (火災のため残金2両2分と6匁9分3厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主御借主仙助・忠右衛門・四五右衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-51
善藏他五名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金3分と9匁1分1厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主善藏・五人組覚右衛門役代伝藏・磯治郎他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-52
惣三郎他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金4両6匁長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主惣三郎・五人組吉右衛門・伊兵衛他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-53
三郎治他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両と1匁2分8厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主三郎治・同町五人組勇吉他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-54
忠右衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金3両3分と9匁1厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主忠右衛門・五人組四五右衛門・伝五郎他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-55
三郎兵衛他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金5両と1分4匁5分8厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主三郎兵衛・五人組七郎平・八衛八他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-56
七郎平他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両と7匁5分長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主七郎平・五人組八衛八・三郎兵衛他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-57
清吉他七名金子借用証文[差上申御拝借証文之御事] (火災のため残金3両3分長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主清吉・五人組次郎七・同断大蔵他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-58
惣右衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金2両2分長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主惣右衛門・同五人組三郎治・勇吉他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-59
半左衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金1分7匁5厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主半左衛門・五人組真福寺・同断幸藏他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-60
長兵衛他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事] (火災のため残金1両3分と10匁1分9厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主長兵衛・五人組権九郎・同清右衛門他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-61
嘉兵衛他七名金子借用証文[差上申拝借証文之御事] (火災のため残金3両9分と9匁4厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主嘉兵衛・五人組次郎七・同断清吉5名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-62
大蔵他八名金子借用証文[差上申拝借証文御事] (火災のため残金3両1分と9匁8分4厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町御借主大蔵・五人組清吉・同断次郎七他6名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-63

新左衛門他七名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金1分と11匁9厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町拝借主新左衛門・五人組清吉・同断次郎七他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-64
次郎七他二名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金1分と17匁9厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町拝借主次郎七・五人組清吉・同断大蔵→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-65
祐右衛門他八名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金1両と11匁9厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町拝借主祐右衛門・五人組清右衛門・同断次郎七他6名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-66
専蔵他二名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金17両2分と3分1厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町拝借主専蔵・五人組清吉・同断治郎七→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-67
勇吉他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金1両3分と10匁4分7厘長年賦割合にて返済につき) 荒神町拝借主勇吉・五人組伊七・同断吉左衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-68
長蔵他五名金子借用証文[指上申御拝借証文之御事](火災のため残金1両12匁長年賦割合にて返済につき) 肴町拝借主長蔵・五人組重蔵・同断七郎治他3名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-69
甚左衛門他四名金子借用証文[指上申拝借証文之御事](火災のため残金4両と11匁6分4厘長年賦割合にて返済につき) 肴町御借主甚左衛門・五人組周左衛門・同断清兵衛他2名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-70
利右衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金1両と8匁1分3厘長年賦割合にて返済につき) 肴町御借り主利右衛門・五人組平蔵・同断千左衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-71
惣右衛門他二名金子借用証文[指上申拝借証文之御事](火災のため残金15両3分と2匁6分8厘長年賦割合にて返済につき) 弥太衛門五人組引請肴町御借り主惣右衛門・同安右衛門・同甚右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 奥印あり,下ヶ札あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-72
権左衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金1両1分と2匁8分9厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主権左衛門・五人組小源治・同次久右衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-73
庄蔵他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金2両2分9厘と9匁4分2厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町借主庄蔵・五人組吉太郎・甚五兵衛他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-74
藤七他七名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金1両2分と4匁3分5厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主藤七・五人組久四郎・藤左衛門他5名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり,下ヶ札あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-75
雄治他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金5両2分と4匁3分5厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町御借主雄治・五人組勘右衛門・初	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-76

太郎他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり			
新右衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之御事](火災のため残金4両1分と8匁9分9厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主新右衛門・五人組善治郎・同清蔵他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-77
喜四郎他金五名金子借用証文[指上申拝借証文之御事](火災のため残金4両1分と2匁8分11厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町御借主喜四郎・五人組勘左衛門・円右衛門他3名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-78
吉太郎衛他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金4両と13匁3分5厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主吉太郎・五人組甚五兵衛・甚右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-79
権五郎他四名金子借用証文[指上申拝借証文之事](火災のため残金3両長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町御借主権五郎・五人組庄蔵・円右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-80
甚四郎他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金5両2分と3匁3分8厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主甚四郎・喜兵衛・伊勢町七郎平抱屋敷役代善蔵他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-81
伊左衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金6両と2匁8分5厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町御借主伊左衛門・五人組甚四郎・同徳次郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-82
文右衛門他三名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金3両と7匁3分8厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町まち役代御借主文右衛門・五人組忠右衛門・民八他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-83
磯八他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金2両2分と6匁4分7厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主磯八・五人組源十郎・辰右衛門他3名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-84
源之丞他七名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金4両1分と12匁2分長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町御借主源之丞・五人組藤右衛門・久四郎他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり、下ヶ札あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-85
佐左衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金3両3分と2匁6分7厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主佐左衛門・五人組嘉兵衛・三四郎他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-86
勘右衛門他五名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金1両と1匁2厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町御借主勘右衛門・五人組重吉・久米治郎他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 奥印あり	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-87
五左衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金2両6分と8厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町借主五左衛門・宇佐美清十郎役代五人組三郎治・文右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 奥印あり	寛政6年3月	豎美継紙・1通	こ254-88
吉郎右衛門他四名金子借用証文[差上申拝借証文之事](火災のため残金3両2分と3匁7分5厘長年賦割合にて返済につき) 鍛冶町拝借主吉郎右衛門・五人組	寛政6年2月	豎美継紙・1通	こ254-89